

立地適正化計画（防災指針）作成支援

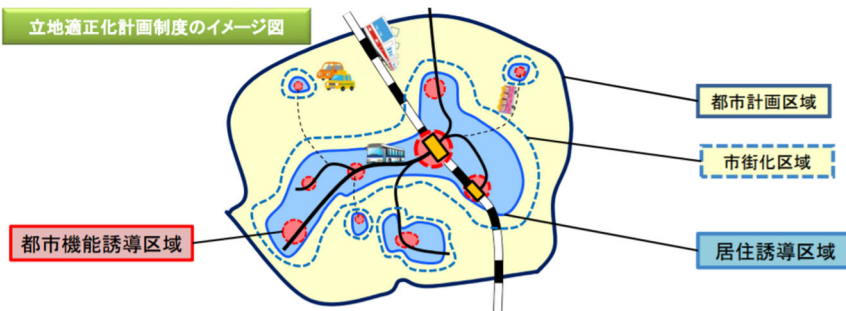
テーマ	大規模災害対策
キーワード	都市再生、災害に強いまちづくり、災害リスク分析、居住誘導区域、都市機能誘導区域、土地利用、合意形成

地域の災害リスクを分析

平成26年8月に「立地適正化計画」が制度化され、都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、居住機能や都市機能の誘導によりコンパクトシティ形成に向けた取組が推進されています。

さらに、気候変動の影響により頻発・激甚化する自然災害への対応として、災害リスクを踏まえた防災まちづくりの目標を設定し、災害に強いまちづくりと併せて都市のコンパクト化を進めることが必要であることから、地域の災害リスクの分析や防災指針の作成を支援します。

立地適正化計画制度のイメージ図



▲立地適正化計画のイメージ(出典:立地適正化計画作成の手引き(国土交通省 R3.7))

課題抽出からリスク低減まで

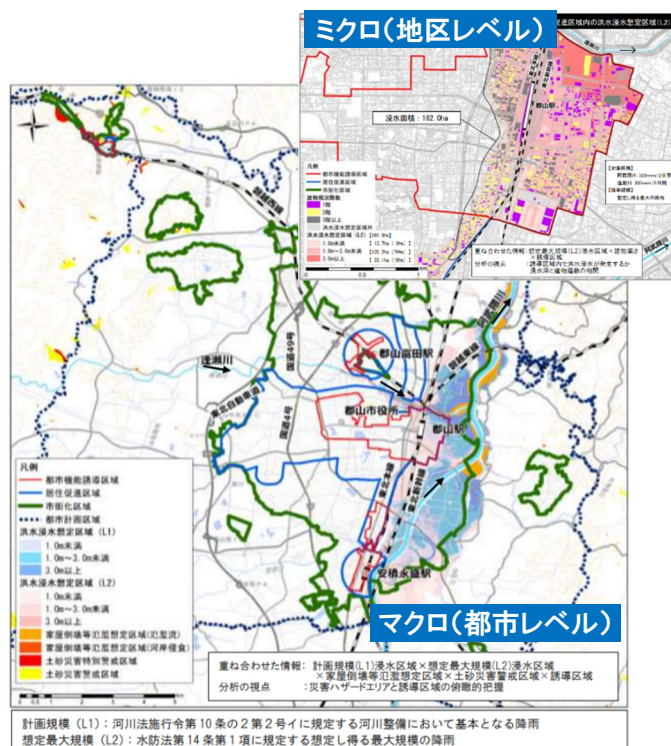
◆居住誘導区域等における災害リスクの分析と防災・減災まちづくりに向けた課題の抽出

発生するおそれのある災害（洪水、内水、津波、高潮、土砂災害等）のハザード情報を網羅的に収集・整理します。さらに、人口・住宅の分布、避難路・避難場所や病院等の生活支援施設の配置等の現状や将来の見通しなど各種の都市の情報と、災害ハザード情報とを重ね合わせることで、人的被害や社会・経済被害等の観点から災害リスクを分析します。

リスク分析にあたっては、都市レベルでの分析（マクロの分析）により災害リスクの高い地域を抽出し、地区レベルの災害リスク分析（ミクロの分析）により、どの地域でどのような課題があるかを抽出します。

リスク分析のイメージ▶

(出典:郡山市立地適正化計画(郡山市 R3.3))



日本工営株式会社

お問合せ	営業担当【	】: TEL.	/FAX.
	技術担当【防災マネジメント部 鎌田・笠原	】: TEL. 03-3238-8257/FAX. 03-3262-4451	

◆防災まちづくりの将来像、取組方針の検討

各地区の課題を踏まえ、規制・移転や居住誘導区域の見直し等による災害リスクの回避の取組方針と、災害リスクを低減するために必要な対策の取組方針を合わせて各地区の取組方針として定めます。

取組方針の検討に当たっては、市町村が自ら講じる施策以外の、国、都道府県、民間事業者等の他の主体により講じられる対策との連携を検討することが重要であり、関係部局との連携、調整を十分に図ります。

◆取組とスケジュールの検討

災害リスク分析、課題抽出を行ったのち、国・県・市で実施されている関連計画・施策等を整理した上で、市域全体の取組とスケジュールを検討します。

また、防災指針（案）の作成のほか、ハザードエリアに居住する住民へのアンケート調査の実施、防災コンパクト先行モデル都市の選定を踏まえた国・県との連携・調整支援を行いました。

■基本理念

都市と自然の共存 治水と防災の連携 ～みんなで作る安心なまち～

■取組方針

① 若葉町・桜木一丁目周辺地区

洪水(L1) ⇒ リスクの低減

- 阿武隈川の河道掘削等、逢瀬川の築堤護岸・河道掘削等により災害リスクを低減させる。
- 災害リスク低減のため建物構造の工夫や盛土等の支援策を検討する。
- 災害に備えて河川水位等の監視を強化する。

洪水(L2) ⇒ リスクの低減

- 災害リスクの視覚可等により防災意識の向上を図る。
- 適切な情報発信により、住民の避難行動の迅速化を図る。

内水 ⇒ リスクの低減

- 床上浸水被害を床下浸水にとどめるよう取り組む。

③ 図景周辺地区

洪水(L2) ⇒ リスクの低減

- 災害リスクの視覚可等により防災意識の向上を図る。
- 適切な情報発信により、住民の避難行動の迅速化を図る。
- 浸水時の安全確保のため、道路冠水の監視を強化する。

内水 ⇒ リスクの低減

- 床上浸水被害を床下浸水にとどめるよう取り組む。

④ 安積永盛駅周辺地区

洪水(L2) ⇒ リスクの低減

- 災害リスクの視覚可等により防災意識の向上を図る。
- 適切な情報発信により、住民の避難行動の迅速化を図る。
- 浸水時の安全確保のため、道路冠水の監視を強化する。

② 郡山駅周辺地区

洪水(L1) ⇒ リスクの低減

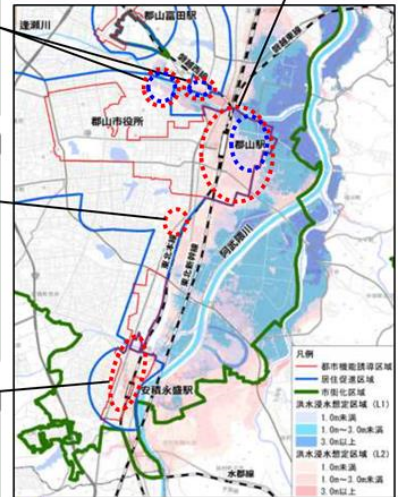
- 阿武隈川・逢瀬川の河道掘削等により災害リスクを低減させる。
- 災害リスク低減のため建物構造の工夫や盛土等の支援策を検討する。
- 災害に備えて河川水位等の監視を強化する。

洪水(L2) ⇒ リスクの低減

- 災害リスクの視覚可等により防災意識の向上を図る。
- 適切な情報発信により、住民の避難行動の迅速化を図る。
- 浸水時の安全確保のため、道路冠水の監視を強化する。

内水 ⇒ リスクの低減

- 床上浸水被害を床下浸水にとどめるよう取り組む。



計画規模(L1)洪水浸水想定区域と居住促進区域の重なる箇所
想定最大規模(L2)洪水浸水想定区域と居住促進区域の重なる箇所

▲災害リスクの高い地域の取組方針の検討

(出典：郡山市立地適正化計画(郡山市 R3.3))

実施範囲

リスク分析や計画策定、住民合意形成など、立地適正化計画（防災指針）作成に向けたさまざまな取り組みをトータルに支援します。

- ・ハザード情報の整理
- ・居住誘導区域等における災害リスクの分析
- ・防災・減災まちづくりに向けた課題の抽出
- ・防災まちづくりの将来像・取組方針の検討
- ・住民合意形成の支援（災害リスクの高いエリア居住者へのアンケート調査等）
- ・地域防災活動の支援（避難訓練等）

関連実績

リスク分析	関東地方整備局: 災害リスクを踏まえた関東地方整備局管内のまちづくり検討業務(R2) 他
事例調査・自治体支援	中部地方整備局: 令和2年度 防災まちづくり検討業務(R2) 四国地方整備局: 令和2年度 災害に強く魅力ある四国のまちづくり支援検討業務(R2) 他
防災指針作成	福島・栃木各県下の市町村において実施